

宝塚市清荒神のチョウ（追録5）

加藤 信一郎

今年（1985年）は、6月に八重山諸島へ採集に出かけ、その整理などに追われて十分な観察はできなかったが、昨年に引続き季節を通してチョウの発生は悪かったように思われる。昨秋多発したヒョウモン類は全く影をひそめたが、アサギマダラは今年も同じ場所で発生していた（加藤，1985）。また始めてナガサキアゲハの♀を採集できたので報告する。

1. ナガサキアゲハ *Papilio memmon thunbergii* von Siebold

1♀. 4-9-1985. 前翅長80mm, 開長115mm, 前後翅端間長110mmときわめて大型である。地色は黒色, 前翅々脈間は白味がかかり, 後翅は♂と同様に青色が強く, 白斑紋は大きく第1~5室まで現われ, 最大幅は15mm, 手元採品と比べて, 九州宮崎産とはサイズ, 地色, 翅形, 斑紋いずれも差異が見られ, むしろ沖縄本島産に近い。藤岡（1975）の高知市産大型の♀に最も酷似する。従って当地に漸く定着したものかそれとも偶産種かは今一つ定かでない。

採品はノウゼンカズラで吸蜜してから高飛し一度見失ったが, 自宅裏民家の垣根の茂みに休止しようとしていたものである。

2. アサギマダラ *Parantica sita niponica* Moore

1♀. 9-10-1985. 前翅長59mm, 開長95mm, ホシナンヒヨドリバナに吸蜜にきていた。

文 献

藤岡知夫, 1975. 日本産蝶類大図鑑。講談社。

加藤信一郎, 1985. 宝塚市清荒神のチョウ（追録4）。きべりはむし, 13(1): 16, 17。

宝塚大橋のキイロゲンセイ

新 家 勝

昨年, 本年と宝塚大橋の照明燈でキイロゲンセイを採集した。キイロゲンセイの採集例は淡路島, 加西市など点々とあるようだが, 意外に少いようである。最も近くの採集例としては1969, 8, 5 川西市大和（仲田）がある。